

令和4年度

# 事業報告書



社会福祉法人 鹿屋市社会福祉協議会

## I 令和4年度事業実績概要

少子高齢・人口減少社会の進行に伴い、地域の相互扶助機能が低下している中、令和4年度では、コロナ禍において、地域社会においては、人と人とのつながりの希薄化による社会的孤立や生活困窮世帯の増加など地域住民が抱える課題や支援ニーズも複雑化・複合化しており、地域における福祉課題はますます複雑化・複合化しております。

国においては、こうした課題を抱える人々が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らしていけるよう、地域住民が互いに支え合いながら地域をともにつくる「地域共生社会」の実現に向けて、地域づくりの強化や包括的支援体制の整備を進めており、社会福祉協議会には、これらの課題解決に向け、関係団体等との「連携・協働の場」としての役割を發揮し事業展開することが求められております。

このような状況の中で、令和4年度も前年度に引き続き1年を通して新型コロナウイルスの影響を受けながらも、当会では、「地域共生社会」の実現に向けて、下段に記載の6つの重点項目を掲げ、行政をはじめ町内会、民生委員・児童委員、社会福祉関係機関等と連携を図り、地域福祉協議会の設立や町内会等の見守りネットワーク活動支援などに取り組んでまいりました。

令和2年3月から始まった新型コロナに伴う生活福祉資金特例貸付では、年齢や性別・国籍等を問わず相談者に寄り添った支援に努め、鹿屋市では、申請期間終了の令和4年9月30日までに2,234名の方々へ8億279万円の貸付を行いました。

なお、令和5年1月から貸付金の償還が開始されており、引き続き生活に課題を抱えた方への丁寧な相談援助に取り組むとともに、かごしまおもいやりネットワークなどを活用した支援体制づくりに現在取り組んでおります。

令和2年度から取り組んだ介護保険事業の見直し作業については、行政や地域包括支援センター、民生委員等と連携を図り、利用者の他事業所への移管作業や従業員の配置転換など丁寧な説明を行うことで、利用者や従業員に不利益を被らせないよう寄り添いながら移行作業に努め、令和5年4月から新体制でスタートすることとなりました。

また、広報・啓発活動では、福祉プラザ内ロビーに社協活動を紹介するパネルを設置し、広く市民に周知するとともに、展示内容を定期的に更新するなど社協活動の見える化に努めました。

### 《 重点項目 》

- 1 組織・財政基盤の強化
- 2 地域福祉活動の推進
- 3 権利擁護推進センターの円滑な運営
- 4 障がい者基幹相談支援センターの関係機関との連携強化
- 5 市指定管理施設の適正な管理運営と利用促進
- 6 介護保険事業の効果的・効率的な運営

## Ⅱ 事業実績

### 総務課所管

#### 1 法人運営事業の実施

##### (1) 役員会等の開催

##### ① 理事会の開催 (3回)

開催日	出席者数	審議事項等
第1回 6月7日(火)	理事 12人 監事 3人 <u>計 15人</u>	<b>【議案】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業報告の承認</li> <li>・令和3年度会計収支決算の承認</li> <li>・特定相談支援事業所運営規程の一部改正</li> <li>・障害者居宅介護支援事業所運営規程の一部改正</li> <li>・理事候補者の推薦</li> <li>・評議員候補者の推薦</li> <li>・評議員選任・解任委員会委員の選任</li> <li>・評議員選任・解任委員会の招集</li> <li>・定時評議員会の招集</li> </ul> <b>【報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長の職務執行状況(令和4年3月)</li> </ul>
第2回 11月15日(火)	理事 13人 監事 3人 <u>計 16人</u>	<b>【議案】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度会計補正予算(第1号)の承認</li> <li>・第2回評議員会の招集</li> </ul> <b>【報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長の職務執行状況(令和4年4月～9月)</li> <li>・介護保険事業見直し方針の進捗状況</li> <li>・地域福祉推進計画</li> <li>・生活福祉資金特例貸付(緊急小口資金・総合支援資金)の実績</li> </ul>
第3回 3月17日(金)	理事 12人 監事 3人 <u>計 15人</u>	<b>【議案】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度会計補正予算(第2号)の承認</li> <li>・令和5年度事業計画</li> <li>・令和5年度会計予算</li> <li>・鹿屋居宅介護支援事業所運営規程の廃止</li> <li>・第3回評議員会の招集</li> </ul> <b>【報告】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長の職務執行状況(令和4年10月～令和5年2月)</li> <li>・介護保険事業見直し作業の進捗状況</li> <li>・鹿屋市地域福祉推進計画(令和5年度～令和9年度)</li> <li>・理事定数の見直しに伴う定款変更等</li> </ul>

② 評議員会の開催 (3回)

開催日	出席者数	審議事項等
第1回 (定時評議員会) 6月23日(木)	評議員 21人 監事 1人 計 22人	【議案】 ・令和3年度事業報告の承認 ・令和3年度会計収支決算の承認 ・理事の選任
第2回 11月24日(木)	評議員 14人	【議案】 ・令和4年度会計補正予算(第1号)の承認 【報告】 ・介護保険事業見直し作業の進捗状況 ・地域福祉推進計画 ・生活福祉資金特例貸付(緊急小口資金・総合支援資金)の実績 ・理事・評議員の定数の見直し
第3回 3月28日(火)	評議員 18人	【議案】 ・令和4年度会計補正予算(第2号)の承認 ・令和5年度事業計画 ・令和5年度会計予算 【報告】 ・介護保険事業見直し作業の進捗状況 ・鹿屋市地域福祉推進計画(令和5年度~令和9年度) ・理事定数の見直しに伴う定款変更等

③ 正副会長会の開催 (3回)

開催日	出席者数	審議事項
第1回 5月31日(火)	3人	第1回理事会及び定時評議員会上程議案
第2回 11月4日(金)	3人	第2回理事会及び第2回評議員会上程議案
第3回 3月6日(月)	3人	第3回理事会及び第3回評議員会上程議案

④ 監事監査の実施 (1回)

開催日	出席者数	監査事項
5月24日(火)	3人	・令和3年度業務執行の状況及び会計収支決算等

⑤ 監事による業務執行調査の実施

開催日	出席者数	監査事項
5月25日(水)	3人	・輝北ふれあいセンターの視察

(2) 委員会の開催

① 評議員選任・解任委員会の開催 (1回)

開催日	出席者数	審議事項
6月7日(火)	5人	・評議員(7人)の選任

(3) 規程の一部改正及び廃止

一部改正	2規程	・特定相談支援事業所運営規程 ・障害者居宅介護支援事業所運営規程
廃止	1規程	・鹿屋居宅介護支援事業所運営規程

(4) 事業推進体制の見直し

① 事業評価（振り返り）の実施

対象事業（事業区分）	実施期間
26 事業（自主事業・補助事業・受託事業・指定管理事業）	9月9日～12月9日

(5) 財政基盤・財務規律の強化

① 社会福祉法人会計基準や経理規程に基づく、適正な財務会計処理の執行

ア 会計処理等業務の指導，助言等の委託（風呂井会計事務所）
イ 積立資産の資金運用等に係る情報収集（証券会社より）
ウ 固定資産等財産の適正管理
エ 内部監査の実施 2回（7月15日，11月29日）

② 自主財源・公的財源の確保，経費節減の実施等

ア 自主財源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会費，寄附金，共同募金配分金の安定的確保</li> <li>・広告掲載事業の実施（社協だよりに広告を掲載：4回）</li> <li>・寄附金付き清涼飲料水自販機の設置（4台）</li> <li>・県電機商業組合鹿屋支部様と寄附金付き商品開発に向け協議</li> </ul>
イ 公的財源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金，受託金等の安定的確保</li> </ul>
ウ 経費節減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随意契約の見直し（複数の見積を徴取）</li> <li>・電力入札の実施（市社会福祉会館，輝北ふれあいセンター）</li> </ul>

(6) 広報・啓発活動の充実強化

当会の事業等について，広く理解と関心を深めていただくため，市民や関係機関・団体等に対し，次の広報・啓発の充実強化に努めた。

① 社協だよりの発行（4回）

号数	発行日	発行部数	備考
第56号	4月28日	42,000部	町内会全戸等に配布 (A4, 12頁, 両面カラー印刷)
第57号	7月13日	42,000部	
第58号	10月28日	42,000部	
第59号	1月13日	42,000部	

② 各支所広報誌の発行（3回）

区分	広報誌の名称	発行月／配布部数
吾平支所	吾平福祉ふれあい便り	10月発行 吾平地域の町内会 2,420 世帯に配布
		3月発行 吾平地域の町内会 2,419 世帯に配布
串良支所	かのや社協だより「串良版」	3月発行 串良地域の町内会 3,768 世帯に配布

③ 当会ホームページによる広報や情報提供（随時）

区分	実績件数	対前年度比	備考
掲載件数	33件	△9件	イベント・講習会，職員採用情報等
改正件数	4件	1件	社協事業掲載事項の変更
閲覧件数	28,154件	△1,094件	ホームページの検索件数

④ その他

本所・本所分室及び各支所の施設内ロビー等に当会事業紹介パネルの展示（常設）

(7) 社協会員制度の周知と加入促進

当会会員制度について、社協だよりに掲載するなどし、周知と加入促進に努めた。

会員の種類	会費の金額	加入実績	会費実績	対前年度比
一般会員	1世帯 300円	18,400世帯	5,519,910円	△244,310円
団体会員	1口 3,000円	31団体(69口)	207,000円	△12,000円
特別会員	1口 10,000円	49会員(55口)	550,000円	△90,000円
合 計			6,276,910円	△346,310円

(8) 社会福祉功労者・団体の表彰

永年にわたり、社会福祉事業に従事、協力、援助され、功績のあった団体・個人等に対して、当会表彰規程に基づき表彰を行った。

① 表彰状と記念品の贈呈

贈呈先	団体	1団体	・川西町内会女性部
	個人	2人	・社会福祉協議会役員等(2人)

(9) 職員の確保と育成

① 正規職員の採用試験の実施及び採用

ア 受験応募者数	13人(男性2人, 女性11人)			
イ 採用試験実施日 及び受験者数	第1次試験	10月23日(日)	受験者数	12人
	第2次試験	11月20日(日)		7人
ウ 採用候補者選考委員会	10月6日(木)・11月4日(金)・11月20日(日)開催			
エ 採用年月日・人数	採用年月日	令和5年4月1日		
	採用人数	1人(女性)		

② 職員の育成

ア 階層別研修の実施 (新規採用職員研修2名)	・内部研修(4日間：社協業務全般等) ・外部研修(2日間：社会福祉施設等新任職員研修)
----------------------------	------------------------------------------------

(10) 職員の労務管理、健康管理

労働法令等に基づき、適正に職員の労務と健康の管理等を行った。

ア 職員の健康診断、ストレスチェックの実施	1回(全職員が対象)
イ 産業医による職場巡視(健康相談)	10回(本所, 本所分室, 各支所)
ウ 衛生委員会の開催	12回
オ 衛生管理者による職場巡回視察	2回(本所, 本所分室, 各支所)

(11) 経営の透明性の確保と情報公開

ア 社会福祉法人現況報告書を市へ提出(法令に基づく情報公開)	6月30日
イ 当会ホームページ掲載による情報公開(定款, 予算, 決算等)	随時

## (12) 役職員等の研修

当会役職員を対象に、自主研修を実施、また外部機関・団体等が実施する研修会等に参加するなどし、役職員の資質と専門性の向上に努めた。

### ① 役員等研修会に参加 ※県社協・市主催の監事等研修

実施回数	2回	延べ出席者数	3人
------	----	--------	----

### ② 理事・監事・評議員研修会の実施

実施回数	1回	出席者数	30人
------	----	------	-----

### ③ 職員研修会の実施

実施回数	3回	出席者数	50人
------	----	------	-----

### ④ 県社協等外部機関団体等が主催する研修会等に参加

研修回数	83回	延べ参加人数	151人
------	-----	--------	------

## (13) 地域における公益的な取り組みの実施

市民の傾聴力を高めることを目的に傾聴講座を実施した。

第1回	日時	令和4年12月5日(月) 14時00分～15時30分
	場所	情報研修室(全室)
	内容	傾聴講座 「聴く」ことの重要性
	参加人数	29名
	講師	NPO法人かごしまメンタルパートナー協会 理事長 江並 智子 氏
第2回	日時	令和4年12月12日(月) 14時00分～15時30分
	場所	情報研修室(全室)
	内容	傾聴講座 心を引き出す「聴き方」
	参加人数	25名
	講師	NPO法人かごしまメンタルパートナー協会 理事長 江並 智子 氏
第3回	日時	令和4年12月19日(月) 14時00分～15時30分
	場所	情報研修室(全室)
	内容	傾聴講座 「聴き方」の技法
	参加人数	26名
	講師	NPO法人かごしまメンタルパートナー協会 理事長 江並 智子 氏

## (14) 福祉人材等の育成

社会福祉士、看護師を目指す学生に、人材育成の一環として、次の実習の場を提供した。

大学・学校名	人数	内容	実習期間(日数)
鹿屋看護専門学校	30人	地域・在宅看護論現場実習	7/4～8/9(12日間)
	28人	老年看護学実習	1/16～2/24(24日間)

## (15) 鹿屋市民生委員児童委員協議会事務局業務の受託

市民生委員児童委員協議会協議会の事務局業務を受託し、関係機関・団体等と連携を図りながら、次の業務を行った。

業務内容	業務実績
ア 会務の運営	会計, 庶務, 表彰等

イ 会議等の開催	総会(1回), 役員会(12回), 会長会(11回), 会長・副会長会(1回) 地域交流会企画委員会(1回), 監事監査(1回)
ウ 研修の実施	全体研修会(2回), 会長・副会長研修会(1回), 会計担当者研修会(1回), 会長・主任児童委員との合同研修会(1回)
エ その他	①民生委員児童委員の一斉改選(12月) ※民生委員・児童委員数218人(新任40人) ②県民生委員児童委員協議会等他機関主催の各種研修会等に参加

(16) 関係機関・団体等との連携・協調

当会の運営及び事業実施のため、関係機関・団体との連携・協調に努めた。

## 2 社会福祉施設等の管理運営等

### (1) 鹿屋市社会福社会館の管理運営

民間福祉団体等の活動の拠点として、適切かつ効率的な管理・運営に努めた。

- ① 利用件数 333件(対前年度比 78件の減)
- ② 利用者数 2,462人(対前年度比 778人の減)
- ③ 区分別利用件数及び利用者数

区 分	利用件数	利用者数
社協関係	286件	1,953人
福祉団体	2件	62人
福祉協力団体	44件	402人
行政関係	1件	45人
その他	0件	0人
合 計	333件	2,462人

- ④ その他
  - ・社会福社会館1階床シート張替
  - ・社会福社会館前カーポート及び土間設置

## 3 鹿屋市指定管理施設の適正な管理運営

高齢者や障がい者をはじめ、すべての市民が健康でいきいきと自立した生活を営み、社会参加活動を行うと共に、誰もが気軽に交流を深めることができる地域福祉活動の拠点施設として、サービスの質の向上と運営の効率化に留意し、適切な運営管理に努めた。

### (1) 鹿屋市市民交流センター福祉プラザの管理運営

#### ① 利用実績等

利用件数	2,880件(対前年度比: 753件の減)
利用者人数	18,638人(対前年度比: 2,461人の減)
事故・苦情件数	事故件数: 0件(対前年度比: 増減なし)
	苦情件数: 0件(対前年度比: 増減なし)

#### ② 福祉プラザ利用団体の登録, 連絡会の開催等

ア 福祉プラザ利用登録団体の登録(令和5年3月31日現在)

登録団体数	65団体[内, 新規登録団体数: 4団体](対前年度比: 1団体の増)
-------	-------------------------------------



イ 福祉プラザ利用登録団体の登録継続・抹消に係る意向調査の実施

内 容	福祉プラザ利用登録団体の登録継続・抹消に係る意向調査
方 法	令和5年1月31日に、登録団体へ調査票を郵送
件数(調査)	67団体(令和5年1月31日現在の登録団体数)
結 果	・福祉プラザ利用登録団体の登録継続を希望する：64団体 ・福祉プラザ利用登録団体の登録抹消を希望する：3団体

※福祉プラザ利用登録団体連絡会は、新型コロナウイルス感染予防のため開催中止

③ 高齢者入浴サービス事業の実施

日 時	月曜日から金曜日まで(祝日,年末年始を除く) 10:00~15:00
場 所	リナシティかのや(2階)福祉プラザ内男女浴室
対 象 者	65歳以上の市民,又は高齢者クラブ加入者
実 施 日 数	243日
延べ利用者数	3,679人(対前年度比:539人の増)
1日の平均利用者数	15人(対前年度比:1人の増)
そ の 他	①看護師を配置して健康確認(血圧測定等)や相談,利用者の安全確認等 ②高齢者入浴サービス事業は令和5年3月31日をもって終了した。

④ 福祉プラザ通信の発行及び配布

発 行 回 数	12回(第171号~第176号)
発 行 内 容	社協実施事業(ファミリーサポートセンター,心配ごと相談,つどいの広場りな等),高齢者入浴サービスの案内,福祉ロビー展示の紹介 他
発 行 部 数	毎月約5,000部発行(町内会へ回覧,公共施設等へ配布)

(2) 鹿屋市輝北ふれあいセンターの管理運営

① 利用者数 25,144人(利用者内訳は下記のとおり)

区 分	年間利用者数(対前年度比)	区 分	年間利用者数(対前年度比)
社協関係	3,032人(130人の減)	温泉公衆浴場	16,533人(355人の減)
福祉団体	396人(74人の増)	やすらぎサロン	2,996人(34人の減)
福祉協力団体	275人(4人の増)	その他(一般)	1,274人(404人の増)
鹿屋市関係	638人(330人の増)	合 計	25,144人(293人の増)

② 温泉入浴サービス事業の実施(温泉公衆浴場利用実績)※( )は前年度対比

営業日数及び時間	312日(4~10月)9:00~20:00, (11~3月)9:00~19:00					
利用実績	大人(1回)	男	6,703人(425人の減)	大人(1日)	男	9人(7人の増)
		女	9,232人(148人の減)		女	103人(44人の減)
	子供(1回)	男	87人(28人の減)	乳幼児(無料)	男	68人
		女	99人(17人の減)		女	232人
				合 計	16,533人(355人の減)	
				1日平均利用者数	52人(6人の減)	

③ 輝北ふれあいセンター運営協議会の開催（1回）

日 時	【第1回】令和4年8月23日（火）9：30～10：45
場 所	輝北ふれあいセンター 会議室
協議内容	今後の各事業の取り組みについて（活性化策等）
出席者数	委員5人・鹿屋市1人・社協4人

④ きほくやすらぎ食堂、きほくやすらぎ市場の営業

区 分	きほくやすらぎ食堂	きほくやすらぎ市場
内 容	食事(昼食)の提供	地元農産物等の販売
営業日数	47日（毎週：1回）	121日（毎週：3回）
利用者数	1,422人	1,504人
売 上 金	714,650円	876,077円
委 託 先	あじさい(輝北地域住民有志のグループ)	NPO法人 輝北キラキラ館

⑤ その他

- ア 子育てサロン「てるぽっく」に対する活動支援（12回）
- イ 高齢者サロンや福祉関係団体等への施設利用促進（随時）
- ウ 輝北ふれあいセンター多目的広場の利用促進（高齢者クラブ・GG協会）等

#### 4 肝属地区障がい者基幹相談支援センター事業の実施

障がい者等、障がい児の保護者又は障がい者等の介護を行う者などからの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を行うと共に、地域における相談支援機能の強化や、地域の関係機関の連携強化、社会資源の開発・改善等を推進することにより、障がい者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう各事業に取り組んだ。

(1) 障害者相談支援事業

① 総合的・専門的な相談支援

ア 地区別相談実績

	鹿 屋	垂 水	肝 付	東串良	錦 江	南大隅	計
相談支援実人数	452	34	43	17	10	12	568
相談支援延人員	3,941	328	398	131	66	46	4,910

イ 年度別相談実績

区分	分類	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比
相談実人数 【障害別】	身体障害	71	0	43	△ 28	84	41
	重症心身障害	10	5	5	△ 5	7	2
	知的障害	87	△ 1	67	△ 20	109	42
	精神障害	169	7	141	△ 28	231	90
	発達障害	28	△ 1	9	△ 19	42	33
	高次脳機能障害	1	1	2	1	2	0
	その他	198	67	231	33	93	△ 138
	合 計	564	78	498	△ 66	568	70
訪 問	1,067	234	1,059	△ 8	1,115	56	

相談延件数 【方法別】	来 所	280	108	336	56	270	△ 66
	同 行	224	94	324	100	416	92
	電 話	1,624	365	2,246	622	1,367	△ 879
	メール	331	124	145	△ 186	115	△ 30
	個別支援会議	106	23	108	2	111	3
	関係機関	1,983	567	1,096	△ 887	1,486	390
	その他	39	△ 3	43	4	30	△ 13
	合 計	5,654	1,512	5,357	△ 297	4,910	△ 447
相談延件数 【内容別】	福祉サービス利用等	1,910	613	2,178	268	2,126	△ 52
	障害者症状の理解	41	△ 12	17	△ 24	25	8
	健康・医療に関する	1,118	522	620	△ 498	750	130
	不安の解消・情緒安定	739	313	910	171	620	△ 290
	保育・教育	350	125	173	△ 177	160	△ 13
	家族関係・人間関係	423	122	348	△ 75	280	△ 68
	家計・経済	930	477	794	△ 136	737	△ 57
	生活技術	1,518	424	1,286	△ 232	1,159	△ 127
	就労	188	100	124	△ 64	95	△ 29
	社会参加・余暇支援	65	37	54	△ 11	43	△ 11
	権利擁護	77	35	56	△ 21	37	△ 19
	その他	687	△ 64	1,003	316	607	△ 396
	合 計	8,046	2,692	7,563	△ 483	6,639	△ 924

② 権利擁護・虐待の防止の取組

ア 相談件数

- ・成年後見制度利用支援事業の利用に関する支援・相談件数 2件
- ・虐待防止に関する相談支援・相談対応件数 31件
- ・差別解消に関する相談支援・相談対応件数 1件

イ 虐待通報件数 4件

ウ 権利擁護関係研修講師

- ・令和4年6月29日（水） 福祉サービス事業所
- ・令和4年9月16日（金） 大隅放課後等ディサービス連絡協議会
- ・令和4年10月21日（金） 鹿屋市社会福祉協議会（在宅サービス実務者）

(2) 相談支援事業

① 地域の相談支援体制の強化の取組

ア 令和4年度個別支援会議等実施状況

内 容	鹿屋市	垂水市	肝付町	東串良	錦江町	南大隅	合計
個別支援会議	38	8	9	1	0	1	57
サービス利用会議	39	4	4	3	0	0	50

イ 研修の開催

◇福祉サービス事業所初任者研修

- ・開 催 日：令和4年11月25日（金）

- ・研修内容：ハラスメント対策について
- ・参加者：管内福祉サービス事業所職員 40人

◇相談支援員研修

- ・開催日：令和5年3月9日（木）
- ・研修内容：「重層的支援における相談支援専門員の役割について」
- ・参加者：管内相談員 14人

② 地域移行・地域定着の促進の取組

ア 当事者会（心のはね会）の開催 15回

イ ピアサポーター活用事業

ア 鹿屋看護専門学校の講師派遣

- ・令和4年6月8日（水） 3年生（ピア3名，コーディネーターそお基幹1名）
- ・令和4年6月29日（水） 2年生（ピア3名，コーディネーターそお基幹1名）

ウ ピアサポーターフォローアップ研修の開催（令和4年8月18日）

③ 住宅入居等支援事業（居住サポート事業）

ア 年間相談支援件数 211件

イ 入居等支援事業実施状況

賃貸契約による住宅への入居を希望しているが、保証人がいない等の理由により入居が困難な障害者対し入居に必要な調整等に係る支援を行うとともに、家主等への相談・助言を通じて障害者等の地域生活を支援した。

(3) 地域生活支援拠点等の機能充実に向けた取組

① 相談機能

内容	鹿屋	垂水	肝付	東串良	錦江	南大隅	計
事業実利用者	13人	1人	1人	0人	0人	1人	16人
施設・精神科からの入居件数	1件	0件	0件	0件	0件	0件	1件
自宅からの入居件数	3件	0件	1件	0件	0件	0件	4件

ア ワンストップの相談窓口の実施

イ 携帯電話による24時間の緊急相談体制実施

ウ 令和4年度時間帯別相談支援件数

区分	早朝	午前	午後	夜間	深夜	合計
件数	19	1,950	2,634	77	7	4,687

※早朝（4時～8時） 午前（8時～12時） 午後（12時～18時）

夜間（18時～22時） 深夜（22時～4時）

(4) その他

① 肝属地区障がい者自立支援協議会の企画・運営

② 医療的ケア児の支援体制の整備

ア 医療的ケア児等コーディネーター連絡会議の設置

（令和5年2月28日 第1回医療的ケア児等コーディネーター連絡会開催）

イ 県医療的ケア児等アドバイザー設置支援

ウ 自立支援協議会医療的ケア児部会設置に向けた取組

③ その他の啓発活動等

ア 基幹センターだよりの発行 年4回 (約520部×4回)

配布先：関係機関，福祉サービス事業所，小中学校，幼稚園，保育園

## 5 権利擁護推進センターの円滑な運営と高齢者等の権利擁護の推進

高齢者や障がい者等の意思能力や生活状況に応じ，成年後見制度や福祉サービス利用支援事業を活用して，権利擁護支援の推進を図った。

### (1) 成年後見業務の実施

家庭裁判所からの選任により，判断能力が不十分な認知症高齢者や精神障がい者等の法律面や生活面を支援する法人後見業務を行った。

#### ① 年間実績

・令和3年度末受任数	12人
・新規受任数	0人
・後見終了人数	2人〔後見2人〕
・令和4年度末現在受任数	10人〔後見8人，保佐2人〕
・延受任数	25人
・年間支援人数	535人〔入退院手続き，死後事務等〕
・相談件数	18件〔制度説明，後見事務等〕

#### ② 鹿屋市権利擁護実務者会議への参加

《第1回》

- ・日時 令和4年4月22日(金) 13:30～14:30
- ・場所 鹿屋市役所 2階 202会議室
- ・参加者 1人

《第2回》

- ・日時 令和4年9月1日(水) 13:30～14:30
- ・場所 鹿屋市役所 2階 202会議室
- ・参加者 1人

《第3回》

- ・日時 令和4年12月22日(木) 13:30～14:30
- ・場所 鹿屋市役所 2階 202会議室
- ・参加者 1人

#### ③ 成年後見制度担当者研修会(日本財団主催)への参加

- ・日時 令和4年12月2日(金) 13:30～17:00
- ・場所 鹿屋市社会福祉会館〈オンライン開催〉
- ・参加者 2人

### (2) 福祉サービス利用支援事業の実施

福祉サービスの利用や日常的な金銭管理に関して，自分ひとりでは判断が困難な方に対して，「福祉サービスの利用援助」「日常的な金銭管理サービス」「書類等の預かりサービス」を提供し，住み慣れた地域で安心した生活が送れるように支援を行った。

#### ① 年間実績

・令和3年度末利用人数	76人
-------------	-----

・新規契約数	5人
・解約・終了人数	16人
・令和4年度末現在利用人数	65人
・年間支援人数	81人
・年間支援回数	932回
・相談件数	97件

- ② 令和4年度福祉サービス利用支援事業現地訪問調査
- ・日時 令和4年10月17日(月) 13:30～15:00
  - ・場所 鹿屋市社会福祉会館
  - ・調査実施者 鹿児島県社会福祉協議会福祉サービス運営適正化委員会事務局 2人
  - ・出席者 5人
- ③ 第1回福祉サービス利用支援事業専門員会議（オンライン開催）
- ・日時 令和4年7月29日(金) 10:45～15:10
  - ・場所 鹿屋市社会福祉会館
  - ・参加者 1人
- ④ 第2回福祉サービス利用支援事業専門員会議及び専門員セミナー
- ・日時 令和5年3月10日(金) 10:30～15:30
  - ・場所 鹿児島県社会福祉協議会 別館
  - ・参加者 1人

## 6 介護保険事業の実施

### (1) 居宅介護支援事業【鹿屋居宅一本所分室、輝北居宅一輝北支所】

高齢者等が居宅において、適切な保健医療及び福祉サービスを多様な事業所から総合的かつ効率的に提供され、自立した質の高い日常生活が送れるように、介護相談及び介護計画書（ケアプラン）の作成等の支援を行った。また、介護保険事業見直し方針に基づき、輝北居宅介護支援事業所については、令和5年度から事業拡充を図るため、職員体制の強化や事務所の改修工事等を進めた。一方で鹿屋居宅介護支援事業所については、職員の配置転換や利用者の他事業所への移管作業等を進め、令和5年3月31日で事業所を閉鎖した。

- ① 居宅介護支援事業所職員数 7人（対前年度比1人の減）
- ② 居宅介護支援利用者実人数 195人（対前年度比42人の減）

区分	鹿屋居宅	輝北居宅	合計
予防給付	3人	28人	31人
介護給付	55人	109人	164人
合計	58人	137人	195人

- ③ 介護度別ケアプラン作成件数 1,584件（対前年度比576件の減）

区分	鹿屋居宅	輝北居宅	合計
要支援1	0件	73件	73件
要支援2	20件	156件	176件
事業対象	0件	28件	28件
小計	20件	257件	277件

要介護1	82件	189件	271件
要介護2	143件	268件	411件
要介護3	51件	112件	163件
要介護4	88件	273件	361件
要介護5	13件	88件	101件
小計	377件	930件	1,307件
合計	397件	1,187件	1,584件

④ 住宅改修理由書作成件数 15件 (対前年度比 増減なし)

区分	鹿屋居宅	輝北居宅	合計
理由書作成	4件	11件	15件

(2) 訪問介護事業【本所分室】

訪問介護員が利用者の居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・排泄及び食事等の身体介護、調理・洗濯及び掃除等の家事援助、日常生活に関する相談及び助言その他の生活全般にわたる援助及び支援を行った。また、介護保険事業見直し方針に基づき、輝北地域以外の利用者の他事業所への移管作業等を行った。

- ① 訪問介護事業所職員数 14人 (対前年度比 7人の減)
- ② 訪問介護利用者実人数 74人 (対前年度比 34人の減)
- ③ 訪問介護利用回数 2,652回 (対前年度比 4,315回の減)
- ④ 介護度別利用者数及び利用回数

区分	年間			月平均	
	実人数	延人数	利用回数	利用人数	利用回数
事業対象	5人	48人	264回	4.0人	22.0回
要支援1	9人	60人	269回	5.0人	22.4回
要支援2	20人	106人	605回	8.8人	50.4回
小計	34人	214人	1,138回	17.8人	94.8回
要介護1	20人	116人	645回	9.7人	53.8回
要介護2	16人	80人	617回	6.7人	51.4回
要介護3	3人	34人	225回	2.8人	18.8回
要介護4	1人	8人	27回	0.7人	2.3回
要介護5	0人	0人	0回	0.0人	0.0回
小計	40人	238人	1,514回	19.8人	126.2回
合計	74人	452人	2,652回	37.7人	221.0回

⑤ サービス内容別利用回数

区分	年間利用回数	月平均
身体介護中心	110回	9.2回
身体介護・生活援助	515回	42.9回
生活援助中心	2,027回	168.9回
合計	2,652回	221.0回

### (3) 訪問入浴介護事業【本所分室】

訪問入浴車でその居宅を訪問して浴槽を提供し、看護職員及び介護職員が要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、居宅における入浴の介助を行った。また、業務効率化と経費削減を図るため車両を1台減車した。

- ① 訪問入浴介護事業所職員数 18人（対前年度比 増減なし）
- ② 訪問入浴車保有台数 3台（対前年度比 1台の減）
- ③ 訪問入浴介護利用者実人数 72人（対前年度比 2名の増）
- ④ 年間訪問入浴介護利用回数 1,341回（対前年度比 184回の減）
- ⑤ 介護度別利用者数及び利用回数

区 分	年 間			月平均	
	実人数	延人数	利用回数	利用人数	利用回数
要介護1	1人	1人	1回	0.1人	0.1回
要介護2	6人	16人	65回	1.3人	5.4回
要介護3	9人	14人	33回	1.2人	2.8回
要介護4	16人	78人	414回	6.5人	34.5回
要介護5	40人	172人	828回	14.3人	69.0回
合 計	72人	281人	1,341回	23.4人	111.8回

## 7 障害者福祉サービス事業の実施

利用者が居宅において安心して日常生活を営むことができるよう、訪問介護員等が入浴・排泄及び食事等の身体介護、調理、洗濯及び掃除等の家事援助、生活等に関する相談及び助言並びに外出時における同行援護及び移動支援、その他の生活全般にわたる支援を行った。

### (1) 障害者居宅介護事業

- ① 居宅介護事業所職員数 14人（対前年度比 7人の減）
- ② 居宅介護利用者実人数 32人（対前年度比 3人の増）  
〔内訳：身体11人、知的5人、精神16人〕
- ③ 居宅介護利用回数 3,468回（対前年度比 360回の増）
- ④ サービス内容別利用者数及び利用回数

区 分	年 間			月平均	
	実人数	延人数	利用回数	利用人数	利用回数
身体介護中心	3人	45人	537回	3.8人	44.8回
家事援助中心	28人	288人	2,919回	24.0人	243.3回
通院等介助	1人	12人	12回	1.0人	1.0回
合 計	32人	345人	3,468回	28.8人	289.0回

### (2) 同行援護事業（視覚障がい者に対する外出支援等）

- ① 同行援護利用者実人数 8人（対前年度比 1人の減）
- ② 同行援護利用回数 647回（対前年度比 194回の減）



区 分	年 間			月平均	
	実人数	延人数	利用回数	利用人数	利用回数
同行援護	8人	76人	598回	6.3人	49.8回

(3) 障害者移動支援事業

- ① 移動支援利用者実人数 2人 (対前年度比 1人の減)  
 ② 移動支援利用回数 5回 (対前年度比 3回の減)

区 分	年 間			月平均	
	実人数	延人数	利用回数	利用人数	利用回数
移動支援	2人	5人	5回	0.4人	0.4回

(4) 障害者訪問入浴サービス事業

- ① 訪問入浴サービス従事者数 18人 (対前年度比 増減なし)  
 ② 訪問入浴車保有台数 3台 (対前年度比 1台の減)  
 ③ 訪問入浴利用者実人数 8人 (対前年度比 1人の減)  
 ④ 訪問入浴利用回数 608回 (対前年度比 77回の減)

区 分	年 間			月平均	
	実人数	延人数	利用回数	利用人数	利用回数
訪問入浴	8人	85人	608回	7.1人	50.7回

## 地域福祉課所管

### 1 地域力強化推進事業（地域福祉事業）

2名の地域福祉コーディネーターを配置し、すべての人々が共に助け合い、生きがいをもって暮らし、地域を作っていく「地域共生社会」の実現を目指して、以下の活動に取り組んだ。

#### (1) 住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる環境整備

##### ① 「地域福祉協議会」の整備

町内会等の区域において、住民が主体的に地域課題を把握し、解決するための協議の場として「地域福祉協議会」の設立を支援し、地域課題を話し合う定例会等の開催を支援した。

#### 【令和4年度設立した地域福祉協議会】3ヶ所

	地 区	設立日	取組内容
1	中央町 (吾平町)	令和4年6月29日	<p><u>地域福祉協議会の設立了承(6月29日)</u> 町内会長から中央町地域福祉協議会(中央町あんしん安全見守り隊)の設立について了承を得る。 <u>中央町地域福祉協議会設立式(10月24日)</u> 地域福祉協議会会員32名が参加、協議会活動を開催した。</p>
2	大塚原 (串良町)	令和4年11月27日	<p><u>地域福祉協議会設立に関する説明会(10月15日)</u> 高齢者クラブ・育成会・大塚原の4町内会が、福祉に関して横断的に連携していくために、地域福祉協議会を設立することで合意 <u>大塚原地域福祉協議会設立式(11月27日)</u> 地域福祉協議会会員は8名だが、設立式には住民50名が参加。活動への機運が高まる。</p> 
3	高 須	令和5年1月27日	<p><u>地域福祉協議会の設立依頼(10月13日)</u> 高須町は、旧鹿屋市社協が昭和60年代に設立を推進した「福祉推進協議会」が残っている。この組織をベースに新たな組織として、設立に合意 <u>高須町地域福祉推進協議会設立式(1月27日)</u> 地域福祉協議会会員20名が参加。新たな活動を開始した。</p>

【既存の地域福祉協議会】

	地 区	設 立 日
1	高 牧	平成 31 年 4 月 1 日
2	鶴 羽	平成 31 年 4 月 1 日
3	古前城	令和元年 6 月 1 日
4	海 道	令和元年 7 月 1 日
5	花 里	令和元年 7 月 1 日
6	小 薄	令和元年 8 月 1 日
7	寿 8 丁目	令和元年 10 月 18 日
8	中央東(吾平)	令和 2 年 4 月 16 日
9	西原 2 丁目東	令和 2 年 5 月 8 日
10	中央麓(吾平)	令和 2 年 5 月 11 日
11	上 野	令和 4 年 3 月 17 日
12	細山田東西	令和 4 年 3 月 18 日

(2) 住民アンケート調査等及び支え合いマップによる地域ニーズの把握

住民アンケート調査及び各種アンケート調査，並びに支え合いマップづくりを通して，地域ニーズの把握に努めた。

① 住民アンケート調査の実施

1	上野町	目 的	地域ニーズを把握することで，上野町地域福祉協議会の検討材料にする。
		調査対象	上野町内会 475 世帯
		調査時期	令和 4 年 6 月 28 日～7 月 15 日
		回収状況	308 世帯 (64.8%)
2	海道町	目 的	地域ニーズを把握することで，海道町地域福祉協議会の検討材料にする。
		調査対象	海道町内会 186 世帯
		調査時期	令和 5 年 1 月 27 日～2 月 17 日
		回収状況	64 世帯 (34.4%)

② 見守り活動団体へのアンケート調査の実施

目 的	見守り活動団体の最新の状況を把握し，更なる活動の充実を図る。
調査対象	当会に登録する見守り活動団体 (40 団体)
調査時期	令和 4 年 5 月 13 日～6 月 10 日
回収状況	39 団体 (97.5%)

③ 町内会における福祉に関するアンケート調査の実施

目 的	地域福祉協議会の新規設立を効率的かつ効果的に推進するため，町内会に福祉部会のような内部組織が存在するか把握する。
調査対象	市内の全町内会 (147 町内会)
調査時期	令和 4 年 12 月 9 日～12 月 28 日
回収状況	80 町内会 (54.4%)

④ 支えあいマップ作成の支援

No.	地 域	日 時	場 所	参加者数
1	大 堀	令和4年10月2日(日) 19:00～	大堀公民館	18人
2	船 間	令和5年2月4日(土) 14:00～	船間公民館	10人

(3) 地域住民等に対する研修の実施

地域福祉協議会の関係者など、地域住民に対して研修を実施することで、地域共生社会の実現に向けた取り組みに関する情報の共有化に努めた。

① 令和4年度かごしまシニア人材育成促進事業への参加(人材育成講座・人材育成実践研修)

日 時	令和4年8月4日(木) 9:30～16:30
場 所	かのやグランドホテル
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワールドカフェ方式(地域活動で上手くいっていること/困っていること)</li> <li>・地域の課題解決ワークショップ</li> <li>・全体共有(各地域のアクションプラン共有)</li> </ul>
参加人数	14人(関係機関6人, 池園町関係者4人, 白崎町関係者4人)

② 令和4年度ふれあいネットワーク研修会

日 時	令和4年8月31日(水) 14:00～16:15
場 所	リナシティかのや2階情報研修室
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政説明「高齢者を取りまく現状等について」</li> <li>・研 修「鹿屋市内の見守り活動の状況について」</li> <li>・事例発表「上野見守り隊の活動について」</li> <li>・意見交換「コロナ禍での活動の工夫について」</li> </ul>
参加人数	32人(関係機関15人, 見守り活動団体16団体17人)

③ 令和4年度地域福祉協議会研修会

日 時	令和4年11月10日(木) 13:30～16:30
場 所	リナシティかのや2階情報研修室
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講 演「薩摩川内市が取り組む地域福祉活動について」</li> <li>・事例発表「峰山地区コミュニティ協議会の取り組み」</li> <li>・グループワーク「地域の課題を考える」</li> </ul>
参加人数	31人(関係機関16人, 地域福祉協議会9団体15人)

④ 令和4年度かごしまシニア人材育成促進事業への参加(フォローアップ研修)

日 時	令和4年11月29日(火) 12:50～15:00
場 所	かのやグランドホテル
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践研修後の進捗状況の振り返り</li> <li>・他地域での取組状況の情報共有</li> <li>・全体共有(次の一步の発表)</li> </ul>
参加人数	11人(関係機関5人, 池園町関係者3人, 白崎町関係者3人)

(4) 地域づくりを推進する市関係各課との連携

地域づくりを推進する市関係各課と定期的に協議を行うことで、それぞれの取組状況を把握し、地域福祉協議会の設立及び支援に向けて連携を図ることができた。

① 市地域活力推進課との協議(第1回)

日 時	令和4年5月18日(水) 15:00~16:30
場 所	市役所5階(地域活力推進課内)
内 容	地域運営組織の進捗状況について

② 市地域活力推進課との協議(第2回)

日 時	令和4年8月17日(水) 10:00~11:30
場 所	市役所5階(地域活力推進課内)
内 容	市内交通空白地域のヒヤリング

③ 市高齢福祉課との協議(計9回)

日 時	令和4年 5月9日(月) 15:00~16:10	
	6月6日(月) 15:00~16:10	
	7月8日(金) 10:00~11:45	
	8月29日(月) 10:30~11:45	
	9月26日(月) 10:30~12:00	
	11月28日(月) 13:30~15:30	
	12月19日(月) 15:00~17:00	
	令和5年 2月27日(月) 10:00~11:30	
	3月20日(月) 10:00~11:30	
場 所	鹿屋市地域包括センター	
内 容	生活支援コーディネーターとの活動共有	

(5) ふれあいネットワークづくり事業

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域の中で取り組まれている見守り活動について、継続的に活動されるよう支援を行った。

① 高齢者等の見守り隊に対する支援を実施

区 分		鹿屋	串良	吾平	輝北	計
見守り隊	総数	25	4	4	4	37
	既存の見守り隊の例会を通じた支援回数	50	0	6	0	56

② 新規に設立した見守り組織

名 称	設立日	活動内容
中央町あんしん安全見守り隊 (吾平：中央町地域福祉協議会)	令和4年6月29日	見守り隊員30名が、町内の見守りが必要な高齢者等11名を見守る。町内8班に分かれて活動する。 

(6) ふれあい・いきいきサロン事業

住み慣れた地域ごとに気軽に集える場所を作り、生きがいをづくりや仲間づくりの支援を行った。

① ふれあい・いきいきサロンの立ち上げ支援、既存サロンへの支援

区 分		鹿屋	串良	吾平	輝北	計
高齢者サロン (ヶ所)	新規立上げ	9	1	0	0	10
	廃 止	4	1	0	1	6
	総 数	91	16	26	17	150
子育てサロン	総 数	1	0	1	1	3
高齢者サロンへの参加支援回数		20	0	27	21	68
子育てサロンへの参加支援回数		2	0	0	9	11



② 助成金を通じた支援（高齢者サロン等加入促進事業）

サロングループ等で新規加入した人数に応じて助成金を交付し、活動の促進を図った。

交付対象サロン数	116グループ（対前年度比：29グループの増）
助成金額合計	1,530,000円（対前年度比：458,000円の増）

③ レクリエーション用具の貸出

サロン等へレクリエーション用具の貸し出しを行った。

・貸出件数 113件(延61団体)、140台

用具名	貸出件数	貸出台数
スカットボール	22件	22台
ストライクボード	5件	5台
輪投げ	23件	26台
シャッフルゴルフ	2件	2台
スマイル射的	11件	11台
たいこ相撲	8件	8台
麻雀セット	5件	7台
その他	37件	59台
合 計	113件	140台



(7) ドライブサロン事業の実施

市内の社会福祉法人6法人の経営する8つの福祉施設で実施。自ら交通手段を有しない高齢者等に対し、週1回法人のマイクロバス等を運行して、生鮮食料品等の買い物支援を行う「生活支援型」と月2回程度、法人のマイクロバス等を運行して、市内外の名所・観光地への遠足と買い物を組み合わせた「生きがづくり型」の2種類のドライブサロン事業を実施した。

① 生活支援型ドライブサロン

実施回数	110回（対前年度比：6回の増）
登録者数	91人（対前年度比：15人の増）
年間利用者数(延)	708人（対前年度比：91人の減）

(各地区の内訳表)



地 区 名	花岡地区	大始良地区
町 内 会	有武・小薄・高牧	大始良東(r3.7.27～)
協 力 法 人	社会福祉法人 愛光会 桜町学園・和光学園	社会福祉法人 永生会 慈恵園
開 始 日	平成27年4月2日	平成28年8月29日

実施日	毎週木曜日 13:00	毎週火曜日 10:00～
買い物先	ニシムタ鹿屋店, スーパーかくち	a コープ大始良店
実施回数	27回	14回
登録者数	24人	9人
年間利用者数	平均7人, 延べ192人	平均4人, 延べ56人

地区名	串良地区	花里地区
町内会	富ヶ尾中央	花里・白水・一里山
協力法人	社会福祉法人 以和貴会 以和貴苑	社会福祉法人 鹿屋恵友会 花岡の里
開始日	平成29年3月7日	平成29年8月4日
実施日	毎週火曜日 10:30～	毎週火曜 10:00～
買い物先	タイヨー串良店	ニシムタ鹿屋店 スーパーかくち
実施回数	31回	10回
登録者数	9人	10人
年間利用者数	平均5人, 延べ143人	平均5人, 延べ53人

地区名	飯隈・南地区
町内会	飯隈・南
協力法人	社会福祉法人 愛光会 総合サポートセンターラン
開始日	平成29年11月15日
実施日	毎週木曜日 13:00～
買い物先	A コープ大始良店
実施回数	28回
登録者数	17人
年間利用者数	平均9人, 延べ264人

② 生きがいつくり型ドライブサロン

実施回数	2回 (対前年度比: 2回の増)
登録者数	770人 (対前年度比: 増減なし)
年間利用者数(延)	27人 (対前年度比: 27人の増)

(各地区の内訳表)

地区名	吾平地区	串良地区
法人名	社会福祉法人岳風会 陵北荘	社会福祉法人友心会 ゆらり
開始日	平成30年10月9日	令和元年10月9日
実施日	月2回	月2回
行先	市内外の名所, スーパー	市内外の名所, スーパー
登録者数	吾平町内のサロン参加者 約412人	串良町内のサロン参加者 約358人
利用者数	0人	27人
実施回数	0回	2回

※吾平地区は、コロナ感染拡大防止のため活動実績なし

③ 令和4年度ドライブサロン事業連絡会

日 時	令和5年3月10日(金) 14:00~15:30
場 所	リナシティかのや2階(ボランティア室)
開催方法	オンライン形式による
内 容	・令和4年度ドライブサロンの実施状況について ・ドライブサロン事業担当者間の意見交換会
参 加 者	6法人8施設(9名)

④ ドライブサロン事業視察等受入状況

日 時	令和5年2月22日(水) 13:30~14:30
相 手 方	社会福祉法人錦江町社会福祉協議会(2名)
実施方法	来所による

(8) 子ども食堂の支援

地域の子ども達が、無料または安価で栄養のある食事がとれ、地域の様々な立場の方が参加し、多世代交流の場にもなっている子ども食堂を支援した。

① 第1回鹿屋市子ども食堂ネットワーク連絡会

日 時	令和4年7月28日(木) 15:00~17:00
場 所	リナシティかのや2階情報研修室
内 容	・研 修「県内における子ども食堂の実施状況について」 ・意見交換会「市内の子ども食堂における情報交換」
参加人数	12人(子ども食堂7団体)

② 第2回鹿屋市子ども食堂ネットワーク連絡会

日 時	令和5年3月8日(水) 14:00~16:00
場 所	リナシティかのや2階情報研修室
内 容	・研 修「子どもを取り巻く環境について」 ・意見交換会「令和4年度の子ども食堂運営を振り返って」
参加人数	9人(子ども食堂5団体)

**2 多機関協働包括的支援体制構築事業**

(1) 多機関の協働による包括的支援体制構築事業

1つの機関では対応できない複雑・複合的な課題がある世帯に対し、高齢・障がい・児童等の各分野が包括的に支援する体制の構築を推進した。また、支援過程で課題となるものについて協議し解決を図った。

① 複合的課題を抱える世帯への支援

a 相談件数 65件

(国の分類による世帯内訳)

世帯類型	件数
単身世帯(64歳以下)	15
単身世帯(65歳以上)	13
夫婦のみ世帯(夫婦ともに65歳以上)	1
夫婦と未婚の子	7



配偶者のいない65歳以上の者と20歳以上の未婚の子のみ世帯	3
ひとり親世帯【現に配偶者のいない65歳未満の者と20歳未満の子のみ（養子含む）】	14
3世代世帯（世帯主を中心とした直系3世代以上）	6
その他世帯	6
合 計	65

○結果 終結 54件 継続 11件

b 相談内容（国の分類）※世帯に複数の相談内容があるため相談件数と合計は一致しない

相談類型	件数
病気・けが	40
障がい（手帳有）	16
障がい（疑い）	21
その他メンタルヘルス（うつ・不眠・不安・依存症・適応障害）	32
経済的困窮	49
（多重・過重）債務	9
家計管理の問題	19
社会的孤立（ニート・ひきこもり含む）	33
家族関係・家族の問題	40
介護	4
子育て	17
不登校	12
ひとり親	12
DV・虐待	7
外国籍	1
合 計	312

## (2) 相談支援機関のネットワーク構築

世帯への包括的支援や重層的支援会議等を通じて、高齢・障害・児童・困窮分野の支援機関と連携を図り、実務的なネットワークの構築に努めた。また、下記の関係機関で構成される会への参加等を通じて連携を図った。

・相談支援ネットワーク機関（11機関）

- ①民生委員児童委員協議会 ②鹿屋市地域包括支援センター ③大隅児童相談所  
 ④肝属地区障がい者基幹相談支援センター ⑤市子育て支援課 ⑥市学校教育課  
 ⑦市健康増進課 ⑧生活困窮者自立相談支援機関 ⑨市福祉政策課 ⑩法テラス鹿屋  
 ⑪児童家庭支援センターつながり

・多様な関係機関で構成される会を通じての連携促進

- ・青少年問題協議会実務者会（市生涯学習課，年6回）
- ・鹿屋市要保護児童対策地域協議会実務者会（市子育て支援課，年4回）
- ・肝属・曾於地区自殺対策ネットワーク会議（大隅地域振興局，年1回）
- ・権利擁護実務者会（鹿屋市高齢福祉課，年3回）
- ・肝属保護区保護司会

## (3) 総合相談事業（心配ごと相談事業）の実施

一般相談では市民の様々な相談を受け、福祉サービス等の情報提供、専門機関へ橋渡しを行い、専門相談では、専門的な助言や情報提供を行い問題解決への適切な支援に努めた。

① 相談件数 358 件（前年度比 4 件減）

相談種別	相談内容	相談日・時間	相談員	開設日数	相談件数 (対前年度比)
一般相談	心配ごと・ 悩みごと	月曜日～金曜日 9:00～12:00	心配ごと 相談員	243 日	129 件 (△10 件)
法律相談	権利・相続 ・借地等	第 2 金曜日 13:00～16:00	弁護士	12 日	63 件 (△8 件)
税務・経営相談	相続税・ 贈与税等	第 1 金曜日 9:00～12:00	税理士	12 日	19 件 (△5 件)
財産・登記相談	相続・財産 ・登記等	第 2・3・4 金曜日 9:00～12:00	司法書士	35 日	133 件 (14 件)
終活相談	死後事務・遺 言等	第 4 木曜日 9:00～12:00	行政書士	11 日	14 件 (5 件)
合 計					358 件(△4 件)

② 周知広報

掲載月	広報媒体	広報方法
令和 4 年 4 月	社協だより第 56 号	全戸配布
令和 4 年 9 月	福祉プラザ通信第 173 号	全戸回覧
令和 4 年 10 月	社協だより第 58 号	全戸配布
令和 5 年 1 月	社協だより第 59 号	全戸配布
令和 5 年 2 月 12 日	空き家対策セミナー（市安全安心課）	—
令和 4 年 3 月	福祉プラザ通信第 170 号	全戸回覧
常時	社協ホームページ	—
常時	市ホームページ	—

③ 相談員研修会及び相談員会

日 時	内 容	出席者
令和 5 年 3 月 3 日(金) 13:30～16:00	1 研修 講師：法テラス鹿屋 弁護士 森田 航 氏 (1)「法テラスの役割と連携について」 (2)「日常生活に関わる最近の法改正等」 (3)意見交換会「相談対応に役立つ身近な法的解決法」 2 心配ごと相談所の運営について (1) 相談所の実績等について (2) 今後の相談所運営について	心配ごと相 談員 6 名

(4) 重層的支援体制整備事業への移行準備に関すること

① 重層的支援会議の開催を通じた支援機関の役割分担や支援の方向性等の整理

ア 重層的支援会議の開催回数 12 回 対象世帯 5 世帯

イ 内容

- ・重層的支援体制整備事業や多機関が協働する目的やについて

- ・複合的課題を持つ世帯の課題整理
  - ・支援の方向性と各支援機関の役割等について 等
- ウ 複合的な課題のある世帯の例
- ・複合的障がいを持つ母親と知的障がいを持つ不登校状態の子
  - ・外国籍の母親が帰国している間に父親が急死し、学生同士で妊娠・出産した子
  - ・ひきこもりの中学生、ヤングケアラーの高校生、精神障がいを持つ母、夜間働いている祖母
- ② その他、重層的支援体制整備事業への移行に向けた準備に必要なこと
- ア 市関係課との協議
- イ 他実施市町村の重層事業実施状況調査

### 3 生活福祉資金貸付事業

#### (1) 県生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯、失業者世帯等の経済的自立や生活の安定を図るため、次の事業に取り組んだ。

##### ① 本則貸付分

###### ア 令和4年度貸付分実績

- ・相談件数：80件（架電：28件，来所：49件，訪問：3件）
- ・貸付件数：5件（前年度比2件増）
- ・貸付金額：2,531,000円（前年度比△1,879,000円）

資金種類	件数	金額
福祉費（その他一時的経費）	1件	43,000円
福祉費（療養経費）	1件	1,700,000円
緊急小口資金	1件	100,000円
教育支援資金（就学支度費）	2件	688,000円
合計	5件	2,531,000円

##### イ 償還状況

区分	元金	利子	延滞利子	合計
前期末貸付残高	32,467,508円	555,933円	14,827,698円	47,851,139円
当年度貸付額	2,325,000円	0円	0円	2,325,000円
当年度償還額	4,338,370円	27,731円	145,847円	4,511,948円
当年度末未償還額	30,454,138円	528,202円	14,681,851円	45,664,191円

※当年度貸付額については、当年度に交付した額であり、実際の貸付金額とは異なる。

##### ② 新型コロナウイルス特例貸付

令和2年3月25日から令和4年9月30日にかけて新型コロナウイルス特例貸付の受付が行われた。

###### ア 令和4年度貸付受付分実績及び累計実績

資金種類	令和4年度		累計	
	件数	金額	件数	金額
緊急小口資金	94件	18,250,000円	1,086件	208,550,000円
総合支援資金(初回)	57件	31,350,000円	692件	363,450,000円
総合支援資金(延長)			226件	110,760,000円

総合支援資金(再貸付)			230 件	120,030,000 円
合 計	151 件	49,600,000 円	2,234 件	802,790,000 円

イ 償還状況

区 分	元 金	延滞利子	合 計
前期末貸付残高	511,310,722 円	59,110 円	511,369,832 円
当年度貸付額	19,050,000 円	0 円	19,050,000 円
当年度償還額	7,049,264 円	3,293 円	7,052,557 円
当年度末未償還額	523,311,458 円	55,817 円	523,367,275 円

ウ 新型コロナウイルス特例貸付償還免除

新型コロナウイルス特例貸付の償還時において、一定の要件を満たした場合、償還を免除することが出来るとされ、その受付が都道府県社協ごとに実施された。以下は令和4年度分の

○鹿屋市における償還免除の状況

資金種類	令和4年度
	金 額
緊急小口資金	175,429,318 円
総合支援資金(初回)	92,016,680 円
合 計	267,445,998 円

エ 新型コロナウイルス特例貸付償還猶予

令和5年1月から順次新型コロナウイルス特例貸付の償還が開始されたが、引き続き償還が困難な状況である場合に償還期間を原則1年間猶予することが出来る償還猶予の受付が令和4年12月1日から開始された。

○鹿屋市における償還猶予の状況

資金種類	令和4年度	
	件 数	金 額
緊急小口資金	43 件	8,400,000 円
総合支援資金(初回)	29 件	15,450,000 円
合 計	72 件	23,850,000 円

(2) 鹿屋市社会福祉協議会生活福祉資金小口貸付事業

① 償還状況(令和5年3月31日現在)

- ・未完済借受人：13名
- ・償還があった借受人：2名
- ・償還件数：16件(前年度比2件の増)
- ・償還金額：40,000円(前年度比△31,500円)

区 分	元 金	利 子	合 計
前期末貸付残額	579,000 円	45,910 円	624,910 円
当年度貸付額	0 円	0 円	0 円
当年度償還額	40,000 円	0 円	40,000 円
当年度末未償還額	539,000 円	45,910 円	584,910 円

② 生活福祉資金小口貸付事業滞納借受世帯への償還指導の実施

ア 催告書等の送付(居住確認のため、一般書留・配達証明にて送付)

- ・郵送日：令和5年3月2日

・送付件数：13 件

イ 電話、訪問、面談、郵送による償還指導：11 名 29 回

(内訳：電話：5 回、訪問：5 回、面談：5 回、郵送：14 回)

### (3) 法外援護事業

小口現金など他法他施策により対応できない一時的に生活に困窮している世帯に現金を給付することで生活の安定と自立の促進を図った。

・給付件数：1 件（前年度比±0 件）

・給付金額：2,000 円（前年度比△3,000 円）

・給付内訳：燃料費

## 4 生活困窮者食料支援事業の実施

生活に困窮し、食料に困っている世帯に対し、食料支援を行った。

### (1) 生活困窮世帯への当会備蓄食料品の提供による支援

・支援世帯数：55 世帯（前年度比 20 世帯の増）

・支援件数：64 件（前年度比：27 件の増）

### (2) 「生活困窮者への食料支援に関する協定」締結先との連携による支援

・支援世帯数：1 世帯（前年度比 1 世帯の増）

・支援件数：1 世帯（前年度比 1 件の増）

## 5 かごしまおもいやりネットワーク事業

社会福祉法人の「地域における公益的な取り組み」として、福祉課題や生活課題を抱える住民等を対象に相談支援や経済的支援を実施するとともに、事業の効果的な運営、加入促進に努めた。

### (1) かごしまおもいやりネットワーク事業を活用した経済的支援

・支援世帯数：40 世帯（前年度比：1 世帯の減）

・支援件数：41 件（前年度比±0 件）

・支援金額：1,247,806 円（対前年度比：159,394 円の増）

・支援内容：食料費、燃料費、公共料金、家賃、医療費等

### (2) かごしまおもいやりネットワーク事業ワーキング部会への参加

事業の効果的な運営、加入促進及び研修会の企画・運営に関する協議を行う部会をワーキング部会として位置づけ、部会員として部会及び研修会に参加した。

	開催日	内容
第 1 回	令和 4 年 9 月 9 日（金）	運営要綱及び支援の手引きの内容検討
第 2 回	令和 4 年 10 月 19 日（水）	運営要綱及び支援の手引きの内容検討
第 3 回	令和 4 年 12 月 12 日（月）	事務処理要領及び研修会の内容検討
第 4 回	令和 5 年 1 月 16 日（月）	事務処理要領及び研修会の内容検討
研修会	令和 5 年 2 月 3 日（金）	実践報告及びグループワークへの参加
第 5 回	令和 5 年 2 月 24 日（金）	研修会の振り返り次年度の取組みについて

### (3) 令和 4 年度かごしまおもいやりネットワーク事業加入法人連絡会

鹿屋市内のかごしまおもいやりネットワーク事業加入法人及び事業に興味のある未加入法人を対象に「地域における公益的な取組」について考えていくことを目的として開催した。

日 時	令和5年2月14日(火)
場 所	リナシティかのや2f (ボランティア室) ※オンライン形式
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の概要及び県内における実施状況について</li> <li>・事業の市内における実施状況について</li> <li>・参加法人による意見交換</li> </ul>
参 加 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加入法人5法人6名</li> <li>・未加入法人2法人4名</li> </ul>

## 6 ファミリー・サポート・センター事業

地域において育児又は家事の援助を受けたい人(利用会員)と育児等の援助を行いたい人(サポート会員)を募集・登録し、相互援助活動の調整業務を行い、子育て支援に努めた。

### (1) 会員登録者数

・総会員数 648人(対前年度比:13名の減)

区 分	会員数(内 新規登録者数)
利用会員	310人
サポート会員	292人(2人)
両方会員	46人(5人)
合 計	648人(7人)



### (2) 会員募集講習会の開催と出席者数

開 催 日	利用会員	サポ-ト会員	両方会員	合計
令和4年6月22日(水)	1人	6人	2人	9人
令和4年10月24日(月)	1人	2人	7人	10人
令和5年2月26日(日)	0人	6人	1人	7人
随 時	37人	0人	0人	37人
出 前	3人	0人	0人	3人
合 計	42人	14人	10人	66人

### (3) 全体交流会の開催

日 時	令和4年11月17日(木) 10:00~12:00
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「家事を楽しく子どもの安全を考えた収納の工夫」 講師:遠藤 陽子氏(鹿児島整理収納アドバイザー)</li> <li>・体験発表2例(利用会員と両方会員が1名ずつ発表)</li> <li>・情報交換会</li> </ul>
参加者数	会員37人, 子ども9人

### (4) フォローアップ講習会の開催

日 時	令和5年2月26日(日) 13:30~15:50
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児の緊急救命及び事故防止について(実技を含む)</li> <li>・サポート活動中の事故防止について (イラストシートを使用した演習)</li> </ul> 講師:日本赤十字社鹿児島県支部指導員

参加者数	10人
------	-----

(5) 活動回数

・総活動回数 1,061回（対前年度比：207回の増）

区分	内 容	回 数
預かり	保育施設の保育開始時や保育終了後の子どもの預かり	0回
	放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり	0回
	冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり	15回
	買い物等外出時の子どもの預かり	104回
	母の体調不良による子どもの預かり	35回
	両親の仕事による夜間の預かり	10回
	保育施設の休園による子どもの預かり	2回
	母検診のための子どもの預かり	1回
送迎	保育施設までの送迎	360回
	習い事等の送迎	339回
	面会交流時の送迎	92回
	市役所までの送迎	1回
	放課後デイサービスへの送迎	6回
	発達支援センターへの送迎	42回
家事援助	産後の家事援助	54回

(6) その他

① 援助活動に関する事前打合せ件数 34件

② 会報の発行

鹿屋市ファミリー・サポート・センターだより 2回発行（会員、保育園等に配布）

③ 広報啓発

・鹿屋市の広報紙・・・3回    ・社協だより・・・4回    ・福祉プラザ通信・・・3回

・社協ホームページ・・・3回    ・福祉情報配信・・・2回

※その他の取り組み

・市内の生涯学習施設や子育てひろば、協力店舗などに講習会開催のポスターの掲示を依頼した。

## 7 つどいの広場事業

乳幼児をもつ親とその子どもが気軽につどい、打ち解けた雰囲気の中で語り合い、相互の親睦交流と保育士による育児相談を行うことなどを目的に、つどいの広場“りな”を開設した。

(1) 子育てアドバイザーの配置

保育士の資格を有するアドバイザーを3名配置し事業を実施した。

(2) 利用状況

開設日数	242日
利用者数	2,584人〔内 講習会等参加者 308人含む〕 （対前年度比：1,365人の減） ※新型コロナや子育て交流プラザの開設の影響
1日平均の利用者数	9人（対前年度比：6人の減）



- (3) 講習会 開催回数：11回 延参加者数 118人（対前年度比：16人の減）
- (4) イベント 開催回数：12回 延参加者数 190人（対前年度比：84人の増）
- (5) 相談件数 81件（対前年度比：57件の減）

【主な相談内容】

- ・離乳食や食事について
- ・発達について（ハイハイしない、歩かないなど）
- ・保育園、幼稚園について
- ・夜泣きの対処について
- ・きょうだいの接し方などについて



## 8 ボランティアセンター事業


福祉教育の実践や高齢者、障がい者の方々とふれあう機会の充実など、市民の「福祉の心」の醸成を図るとともに、地域福祉を支えるボランティア活動の充実や福祉イベントを通じて福祉意識の向上を図るなど、ノーマライゼーションの実現に努めた。

### (1) 福祉教育の推進

#### ① 福祉イベント（ボランティアフェスティバル等）の開催

日	時	令和5年10月22日（土）10:00～15:00
場	所	リナシティかのや1階、2階
協力者数 （参加団体数）		92人 （21団体）
対 象 者		一般市民
来 場 者 数		1,289人
内 容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア体験コーナー 手話、要約筆記等</li> <li>・イベントコーナー おもちゃ病院、子育てサロン等</li> <li>・展示コーナー ボランティア活動展示、サロン展示</li> <li>・物販コーナー 菓子類、パン、工芸品等</li> </ul>
		  

#### ② 福祉ボランティア作文コンクールの実施

対 象 者	小学生・中学生・高校生
応 募 数	52点 [内訳] 小学校16点, 中学校31点, 高等学校5点
審 査 結 果	最優秀賞4点, 優秀賞7点
そ の 他	<p>最優秀賞, 優秀賞受賞作品を福祉プラザロビー掲示</p> 

#### ③ ボランティア活動推進校における福祉教育の支援

##### ア ボランティア活動推進校の指定

小学校20校, 中学校7校, 高等学校4校 計31校

##### イ ボランティア活動推進校連絡会の開催



日 時	令和4年6月30日(木) 14:30~16:30
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
対 象 者	ボランティア活動推進校の担当教諭等
出 席 者 数	22校 22人
内 容	①児童・生徒のボランティア活動普及事業の事務処理等について (説明:社協職員) ②事例発表(発表者:祓川小学校 大菌 祐介 先生) ③高齢者疑似体験

#### ウ 福祉体験出前講座の実施

回 数	11回 (小学校3回[2校], 中学校5回, 一般3回)
受 講 者 数	636人(小学校160人, 中学校247人, 一般229人)
実 施 先	西原小(2回), 田崎小, 吾平中, 輝北中, 高隈中, 串良中, 田崎中, 自衛隊, 第一鹿屋幼稚園, 大浦げんき会こども会交流会 

#### エ 福祉体験教材等の貸出


高齢者疑似体験セットの貸出	16件:193セット
車 イ ス の 貸 出	教材7件:99台
ボ ラ ン テ ィ ア 手 帳 の 配 布	8件:430冊
白杖・アイマスクセット貸出	8件:105セット

#### オ 児童・生徒のふれあいボランティア活動事業の実施

手帳発行枚数 小学校3校, 中学校5校 計8校 464枚

### (2) ボランティアの育成

#### ① わくわくボランティア体験学習の開催

日 時	令和4年7月28日(木) 10:00~12:00
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
対 象 者	小学校4・5・6年生の児童
参 加 者 数	9人(内訳:4年生5人・5年生2人・6年生2人)
内 容	①ボランティア活動について(説明:社協職員) ②「まもるいのち ひろめるぼうさい」 (講師:日本赤十字社ボランティアリーダー 中山 忠順 氏) (講師:日本赤十字社鹿児島県支部 事業推進課長 中野 武伸 氏) 

② サマーボランティア体験学習の開催

日 時	令和4年7月27日(水) 10:00~12:00
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
対 象 者	中学生, 高校生, 専門学生, 大学生等
参 加 者 数	11人 (内訳: 中学生1人・高校生10人)
内 容	<p>①ボランティア活動について (説明: 社協職員)</p> <p>②「まもるいのち ひろめるぼうさい」 (講師: 日本赤十字社ボランティアリーダー 中山 忠順 氏) (講師: 日本赤十字社鹿児島県支部 係長 宮元 勝 氏)</p>



(3) ボランティアセンター機能の充実

① ボランティアセンター運営委員会の開催

日 時	令和4年7月1日(金) 14:00~15:30
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
出 席 者 数	ボランティアセンター運営委員9人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度ボランティアセンター事業実施報告について</li> <li>・令和4年度ボランティアセンター事業実施計画について</li> <li>・ボランティアセンター調査報告</li> </ul>

② ボランティア活動に関する相談・情報提供・斡旋

相 談 件 数	112件
相 談 内 訳	ボランティア活動希望 14件, ボランティア要請・依頼 12件 福祉教育相談 13件, その他(保険・収集等) 73件

③ ボランティア(個人・団体)の登録状況

個人ボランティア	64人
ボランティア団体	28団体 13,014人

(4) ボランティアの活動支援

① ボランティア活動保険の加入状況

個人ボランティアの活動保険加入	5人 (対前年度比: 5人の減)
ボランティア団体の活動保険加入	47団体 1,271人 (対前年度比: 13団体123人の減)

② ボランティア活動保険掛金の助成

期 間	令和4年4月1日から令和5年5月31日までの加入者
助 成 対 象 者 数	1,196人 (対前年度比: 89人の減)
助 成 金 合 計 額	119,600円 (1,196人×100円)

(5) 広報啓発活動

社協ホームページ	ボランティア活動情報欄による情報の提供
社協だより	第56号・第57号・第58号・第59号
社協ボラセン通信	第13号

## 9 障害者社会参加促進事業

障がい者の社会参加を促進する事業を実施し、障がい者の社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動への参加促進を図るため、事業実施に努めた。

### (1) 各種奉仕員養成講習会の開催

#### ① 手話奉仕員養成講習会の開催（入門課程）

期 間	令和4年9月6日(火)～令和5年2月7日(火) 19:00～21:00
回 数	20回(40時間)
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
受講者数	35人
修了者数	31人

#### ② 点訳奉仕員養成講習会の開催

期 間	令和4年7月6日(水)～令和4年11月30日(水) 13:00～15:00
回 数	20回(40時間)
場 所	リナシティかのや2階 ボランティア室
受講者数	3人
修了者数	2人

#### ③ 音訳奉仕員養成講習会の開催

期 間	令和4年7月7日(木)～令和4年12月1日(木) 13:30～15:30
回 数	10回(20時間)
場 所	リナシティかのや2階 ボランティア室
受講者数	4人
修了者数	3人

#### ④ 要約筆記奉仕員養成講習会の開催

期 間	令和4年7月12日(火)～令和4年12月13日(火) 10:30～13:30
回 数	11回(33時間)
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
受講者数	3人
修了者数	2人

#### ⑤ 声の広報等発行事業

文字による情報入手が困難な障がい者のために、点訳、音訳の方法により、市の広報等や障がい者の方々が地域生活を送るうえで必要度の高い情報などを定期的に提供した。

広報種別	提供方法	発行回数	利用人数
広報かのや	音訳	12回	9人
広報かのやお知らせ版	音訳	12回	9人
社協だより他	音訳	4回	9人
	点訳	5回	3人

### (2) 意思疎通支援事業

聴覚障がい者の方々が、円滑な意思疎通を図れるよう意思疎通支援者の派遣を行った。

#### ① 意思疎通支援者の派遣

##### ア 手話通訳者の派遣

回数、派遣人数、活動時間	31件・50人・97時間30分
--------------	-----------------

主な派遣用務	市主催講演会, 病院受診等
--------	---------------

イ 要約筆記者の派遣

回数, 派遣人数, 活動時間	6回・13人・15時間50分
主な派遣用務	市主催講演会, 学校行事等

(3) 手話通訳者等専門研修会の開催

日 時	令和5年3月6日(月) 14:00~16:00
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
対象者	登録手話通訳者
参加者数	4人
内 容	手話通訳技術研修 (講師: 鹿児島県手話通訳問題研究会 会長 横溝 和恵 氏)

(4) 福祉機器リサイクル事業

不要になった福祉機器について, これを必要とする方に無料で斡旋した。

区 分	提供台数	譲渡希望台数 (うち提供済分)
電動ベッド	1台	4台(1台)
車イス	2台	2台(2台)

(5) 福祉機器貸出事業の実施

- ① 車いすの無償貸出(車いすの貸出: 89件, 118台)

**10 高齢者元気度アップポイント事業**

65歳以上の高齢者の健康づくりやボランティア活動に対してポイントを付与することで, 地域貢献と社会参加を図り介護予防の推進に努めた。また, 全ての年齢層の方が行う在宅高齢者の支援活動に対して, ポイントを付与することで地域における高齢者支援の担い手の育成に努めた。

(1) 高齢者元気度アップ・ポイント事業の登録

登録者数	3,259人(内 新規登録者 366人)	対前年度比: 233人の増
------	----------------------	---------------

(2) ポイント転換交付人数及び転換交付金

ポイント転換交付人数	811人	対前年度比: 101人の増
ポイント転換交付金額	2,190,000円	対前年度比: 242,000円の増

※令和3年度活動実績に基づく令和4年度交付分

(3) 高齢者元気度アップ・ポイント事業等フォローアップ研修会

	第1回	第2回
日 時	令和4年12月16日(金)10:00~11:30	令和5年3月27日(月)10:00~11:30
場 所	リナシティかのや3階ホール	リナシティかのや3階ホール
内 容	・ポイント付与方法について ・シニア世代の健康づくりポイントについて(講師: 医療法人 青仁会 池田 病院 作業療法士 住吉 賢一 氏)	・ポイントの交換方法について ・高齢者の介護予防・健康づくりについて(講師: 社会医療法人 恒心会 恒心会おぐら病院 理学療法士 切通 陽介 氏)
参 加 者	63人	75人

#### (4) 高齢者元気度アップ・ポイント事業の普及啓発

高齢者元気度アップ・ポイント事業の普及・啓発を図るため、高齢者サロン等の会合へ参加し、同事業の概要説明やチラシの配布を行った。

### 1.1 高齢者地域支え合いグループポイント事業

65歳以上の高齢者を含む団体の互助活動に対し、ポイントを付与して活動を活性化し、高齢者を地域全体で支えるよう支援を行った。

#### (1) 高齢者地域支え合いグループポイント事業の周知及び登録

① 高齢者地域支え合いグループポイント事業の広報・啓発を図るため、高齢者サロン等の会合へ参加し、同事業の概要説明やチラシの配布を行った。

② 活動グループの登録

登録数 279 グループ〔内 新規登録団体 24 グループ〕（対前年度比：12 グループの増）

③ 地区別登録状況（活動種別） ※休会 6 グループを含む

地区	校 区	高齢者支援				地域活性化			合計
		サロン	運動	見守り	施設	地域	子育て	子ども館	
東部	串 良 中	8	5	0	0	0	0	0	13
	上小原中	2	0	1	0	0	0	0	3
	細山田中	3	1	0	0	1	0	0	5
	鹿屋東中	17	15	3	2	3	1	0	41
西部	第一鹿屋中	15	18	2	1	0	3	0	39
	花 岡 中	10	13	2	0	3	1	0	29
南部	吾 平 中	26	11	1	2	2	1	0	43
	田 崎 中	4	5	3	2	1	0	1	16
	大始良中	16	10	4	0	1	0	0	31
北部	輝 北 中	16	4	0	1	1	1	0	23
	鹿 屋 中	14	14	5	0	2	1	0	36
	高 隈 中	4	1	0	0	1	0	0	6
合 計		135	97	21	8	15	8	1	285

#### (2) ポイント転換交付グループ及び転換交付金

区 分		令和4年度	対前年度比
【前期】 4月～9月	グループ数	218グループ	19グループ増
	転換交付金	3,308,000円	373,000円の増
【後期】 10月～3月	グループ数	238グループ	15グループの増
	転換交付金	3,437,000円	756,000円の増
合 計	グループ数	249グループ	17グループの増
	転換交付金	6,745,000円	1,129,000円の増

(3) 高齢者地域支え合いグループポイント事業フォローアップ研修会

日 時	令和4年11月7日(月) 10:00~11:30
場 所	リナシティかのや3階ホール
内 容	・高齢者サロン等加入促進事業について ・通いの場における介護予防の取組について (講師:社会医療法人 恒心会 恒心会おぐら病院 理学療法士 永濱 智美 氏)
参 加 者	グループ代表者 約150人




12 やすらぎの里づくり支援事業

鹿屋市輝北ふれあいセンターを拠点施設に様々な取り組みや活動を展開することにより、生きがいづくりや健康維持、生活の質の向上に努めた。

(1) 各種支援行事(講演会等)の実施

① 野菜・花づくり教室

実施回数	2回	
日 時	【第1回】令和4年5月29日(日) 10:00~11:30 【第2回】令和5年3月5日(日) 10:00~11:30	
場 所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(車庫他)	
内 容	【第1回】 アジサイの鉢植/季節野菜のプランター栽培 (まちを明るくする会 世話人 園田 耕二 氏) 【第2回】 あじさいのさし木/プランター野菜づくり (まちを明るくする会 世話人 園田 耕二 氏)	
延受講者数	47人	

やすらぎ無人販売所の建設


※やすらぎ無人販売所実績

やすらぎサロン利用者及び野菜・花づくり教室の参加者を対象に、生きがいづくり支援を目的として、各家庭菜園の余剰生産物を出荷していただき、土曜日、日曜日、祝日にふれあいセンター駐車場にて無人販売を実施して、売上は出荷者に還元した。

- ア 出荷生産者数・・・1人
- イ 販売品受入数・・・40袋(1袋100円)
- ウ 販売金額・・・4,000円



② 子育て講座

実施回数	2回	
日時	<b>【第1回】</b> 令和4年6月21日(火) 13:30~15:00 当日参加者数・・・12人 <b>【第2回】</b> 令和4年9月27日(火) 13:30~15:00 当日参加者数・・・9人	
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(会議室/和室)	
内容	<b>【第1回】</b> アマテラピー入門編 アマテラピーインストラクター(黒木靖子氏) <b>【第2回】</b> 子供の発達と母子保健 助産師/保健師/看護師(堤 峯子氏)	
延受講者数	21人	

③ 小中学校学習支援教室

実施回数	5回	
日時	<b>【第1回】</b> 令和4年7月13日(水) 10:50~11:35 <b>【第2回】</b> 令和4年7月13日(水) 14:15~15:45 <b>【第3回】</b> 令和4年7月15日(金) 13:40~15:10 <b>【第4回】</b> 令和4年7月19日(火) 10:50~12:15 <b>【第5回】</b> 令和4年7月19日(火) 14:10~15:35	
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(和室)	
内容	<b>【第1回】</b> 俳句教室 (小学校1~2年生 他)・・・33人 <b>【第2回】</b> 俳句教室 (小学校3~4年生 他)・・・36人 <b>【第3回】</b> 俳句教室(短歌と俳句) (小学校5~6年生 他)・・・49人 <b>【第4回】</b> 俳句教室(短歌と俳句) (中学校1年生/3年生 他)・・・29人 <b>【第5回】</b> 俳句教室(短歌と俳句) (中学校2年生 他)・・・25人 *参加対象者: 小学校106人/中学校49人 合計155人(全校生徒) 講師 有限会社 ジャプラン 俳誌「形象」 編集部 山下 久代 氏	  
延受講者数	155人	

④ 高齢者介護予防歯科検診

実施回数	4回	
日時	<b>【第1回】</b> 令和4年10月21日(金) 13:00~14:00 (やすらぎサロン1班)・・・15人 <b>【第2回】</b> 令和4年10月28日(金) 13:00~14:00 (やすらぎサロン3班)・・・15人	


	<b>【第3回】</b> 令和4年11月4日(金) 13:00~14:00 (やすらぎサロン2班)・・・14人 <b>【第4回】</b> 令和4年11月11日(金) 13:00~14:00 (やすらぎサロン4班)・・・16人
場 所	鹿屋市輝北ふれあいセンター (会議室/和室)
内 容	<b>【第1回~4回】</b> 歯科検診及び講話 (口腔ケアについて)
講 師	きらら歯科クリニック院長 吉見 博敏 氏 歯科衛生士 下原 里美 氏
延受講者数	60人

⑤ ふれあいレクリエーション (前期・後期)

実施回数	8回
日 時	<b>【前期】</b> <b>【第1回】</b> 令和4年7月11日(月) 14:30~15:30 (やすらぎサロン3班)・・・18人 <b>【第2回】</b> 令和4年7月14日(木) 14:30~15:30 (やすらぎサロン4班)・・・21人 <b>【第3回】</b> 令和4年7月21日(木) 14:30~15:30 (やすらぎサロン2班)・・・14人 <b>【第4回】</b> 令和4年7月28日(木) 14:30~15:30 (やすらぎサロン1班)・・・19人 <b>【後期】</b> <b>【第1回】</b> 令和5年1月11日(水) 14:30~15:30 (やすらぎサロン4班)・・・19人 <b>【第2回】</b> 令和5年1月12日(木) 14:30~15:30 (やすらぎサロン3班)・・・22人 <b>【第3回】</b> 令和5年1月13日(金) 14:30~15:30 (やすらぎサロン1班)・・・16人 <b>【第4回】</b> 令和5年1月16日(月) 14:30~15:30 (やすらぎサロン2班)・・・17人
場 所	鹿屋市輝北ふれあいセンター (機能訓練室/和室)
内 容	<b>【第1回~8回】</b> 介護予防体操レクリエーション
講 師	鹿屋市レクリエーション協会 介護福祉士 松園 タミ子 氏
延受講者数	146人




⑥ 生活習慣病予防のための食生活講演会

回数	1回	
実施日時	令和4年11月30日(水) 13:00~14:30	
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(和室)	
内容	生活習慣病と消化器がん検診について	
講師	消化器がん検診推進機構 会長 草野 健 氏	
受講者数	31人	

⑦ 高齢男性のための料理教室

回数	4回	
実施日時	<b>【第1回】</b> 令和4年9月26日(月) 11:00~13:30 (やすらぎサロン4班) 外5人 <b>【第2回】</b> 令和4年10月3日(月) 11:00~13:30 (一般参加者6人) <b>【第3回】</b> 令和4年10月6日(木) 11:00~13:30 (やすらぎサロン3班) 外3人 <b>【第4回】</b> 令和4年10月13日(木) 11:00~13:30 (やすらぎサロン1班) 外4人	
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(調理実習室/和室)	
内容	<b>【第1回~4回】</b> 料理試食及び調理, 栄養指導全般	
講師	地元有識者 脇田るみ子氏, 弓削恵子氏, 栢山朝子氏 他1人	
延受講者数	28人	
参加対象者	やすらぎサロン男性登録者10人 外(一般)	

⑧ 趣味講座

回数	1回	
実施日時	<b>【第1回】</b> 令和5年2月19日(日) 10:00~11:30	
所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(会議室)	
内容	<b>【第1回】</b> 将棋の遊び方(実戦編) (輝北コミュニティーセンター) 館長 哥丸 道秋氏	
延受講者数	当日参加者数7人	

⑨ 温泉入浴講習会

回数	1回
実施日時	<b>【第1回】</b> 令和5年1月22日(日) 9:00~12:00
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター和室/多目的広場

内 容	親子で温泉勉強会 & グランドゴルフ大会		
講 師	【第1回】温泉ソムリエ協会 師範 六三四 氏		
延受講者数	26 人		

## (2) 鹿屋市通所付添サポート事業の実施

鹿屋市輝北ふれあいセンターに自力で参加が難しい高齢者等に対し、サポーター登録を行い既定の講習を受けたサポーターが送迎を行うことで、高齢者等の社会参加と介護予防等を推進する。

登録者数	4 人
延べ利用者数	151 人
実施日数	95 日
付添サポーター数	4 人

## (3) 鹿屋市やすらぎサロン事業の実施

高齢者が身近な地域に集い、介護予防又は認知症予防及び人と人が支え合う地域づくりを目指すため、サロン活動の実施に努めた。

登録者数	83 人
延べ利用者数	2,996 人(1 日平均 15.5 人)
実施日数	193 日

### ※買い物等支援事業

輝北ふれあいセンターのやすらぎサロン利用者で、輝北総合支所や ja 輝北支店などに用事がある方や買い物がある方を社協輝北支所の職員が送迎を行なうことで、利用者の利便性を図った。

- ア 利用者数・・・581 人
- イ 運行回数・・・213 回
- ウ 利用状況・・・A マート (145 回), JA 輝北支店 (85 回), 郵便局 (61 回)

## 1 3 地域福祉推進計画の策定

今後の福祉ニーズや地域が抱える福祉課題に対する取り組みについて、計画的に推進するために、基本的な方向性や数値目標などを明記した 5 年間の中長期計画を策定しました。

- (1) 作業部会の開催 (6 回)
- (2) 策定委員会の開催 (4 回)

## 1 4 広報啓発活動等の実施 (福祉情報配信サービス)

パソコンや携帯電話のメール機能を利用し、福祉イベントやボランティア情報、休日の当番医、イベント情報等の配信や急を要する不審者等の情報など、暮らしに役立つ福祉情報の配信に努めた。

登録者数	1,065 人 (内 新規登録者数 50 人)
配信件数	79 件

## 15 共同募金・歳末たすけあい募金配分金事業

鹿児島県共同募金会から一般募金及び歳末たすけあい募金の配分があり、様々な福祉活動を行う団体等に配分した。

### (1) 一般募金配分金【配分合計額】5,853,126円（対前年度比：381,699円の減）

配分内容	配分金
町内会福祉推進助成金	1,385,000円
福祉活動団体助成金	1,450,000円
地域福祉協議会運営助成	164,000円
高齢者祝品等事業	257,880円
公募助成事業(町内会, ボランティア団体等)	1,087,000円
児童生徒への学習支援事業	527,400円
チャリティグラウンド大会	100,000円
チャリティゴルフ大会	48,700円
輝北地区福祉スポーツ大会	23,650円
民生委員活動啓発事業	200,000円
要約筆記ボランティア団体用備品(プロジェクター)	68,200円
レクリエーション用具	89,100円
事業事務経費	452,196円

### (2) 歳末たすけあい募金配分金【配分合計額】3,327,300円（対前年度比：809,075円の増）

配分内容	配分金
90歳以上の高齢者世帯(歳末見舞品事業)	668,300円
地域歳末たすけあい助成事業(公募事業)	845,000円
児童福祉施設等への助成金	150,000円
生活困窮者支援	474,000円
広報啓発事業(社協だより)	555,000円
事業事務経費	635,000円

## 16 共同募金運動への協力

鹿屋市共同募金委員会が実施する共同募金運動に協力した。

### (1) 広報啓発活動

- ① 赤い羽根, ポスター, パンフレット, チラシ等募金資材を使った広報
- ② 社協だよりに掲載

【第58号(令和4年10月28日発行)】【第59号(令和5年1月13日発行)】

- ③ 懸垂幕の設置(市役所庁舎に設置)
- ④ 横断幕の設置(リナシティかのや3階北田交差点側に設置)

### (2) 赤い羽根共同募金寄付型自動販売機(清涼飲料水)の設置 2台

【社協本所(福祉プラザ内)及び社協本所分室(市社会福祉会館内)】実績 83,298円

### (3) 店舗への募金箱の設置 2カ所(Aコープ大始良店, Aコープ肝付あいら店)

### (4) 募金活動

- ① 赤い羽根空の第一便伝達式及び街頭募金

10月1日から全国的に展開される赤い羽根共同募金運動の開始にあたり、鹿児島県共同

募金会が毎年 a n a グループの協賛を得て開催している「赤い羽根空の第一便伝達式」について、今年度は鹿屋市において開催した。

- ・実施日 令和4年10月1日(土)
- ・場 所 伝達式：鹿屋市役所7f 大会議室 街頭募金：ニシムタ鹿屋店
- ・伝達式参加者 22人
- ・募金ボランティア数 16人
- ・募金実績 11,127円

② 一般募金

ア 運動期間 (10月1日から12月31日まで)

イ 街頭募金の実施

- ・実施日 令和4年10月1日(土)
- ・場 所 市内8ヶ所のスーパー、ホームセンターなど
- ・募金ボランティア数 88人
- ・募金実績 99,367円

ウ 各種別及び本支所の募金総額 9,256,504円 (前年度比：33,496円の減)

(内訳)

募金種別	募金額
戸別募金	6,606,837円
街頭募金	99,367円
法人募金	1,193,930円
学校募金	216,926円
職域募金	182,792円
イベント募金	211,817円
個人募金	382,214円
その他の募金	362,621円
合 計	9,256,504円



③ 歳末たすけあい募金

ア 運動期間 (12月1日から12月31日まで)

イ 街頭募金の実施

- ・実施日 令和4年12月1日(木)
- ・場 所 市内15ヶ所のスーパー、ホームセンターなど
- ・募金ボランティア数 319人
- ・募金実績 360,977円

ウ 各種別及び本支所の募金総額 3,146,560円 (前年度比：89,440円の減)

(内訳)

募金種別	募金額
戸別募金	2,134,054円
街頭募金	360,977円
法人募金	3,000円
職域募金	147,068円
個人募金	173,363円



その他の募金	328,098 円
合 計	3,146,560 円

④ 各種別募金の内容

- ・戸別募金 【町内会の各世帯に募金協力依頼】
- ・職域募金 【市内の官公署等の職員に募金協力依頼】
- ・街頭募金 【市内の15店舗に協力依頼し、店舗の利用客等に募金協力依頼】
- ・法人募金 【市内の企業・病院等に募金協力依頼】
- ・学校募金 【市内の小中高等学校等に通学する児童・生徒等に募金協力依頼】
- ・個人募金 【一般の個人に募金協力依頼】
- ・イベント募金 【各種イベントでの募金活動】
- ・その他の募金 【企業や団体が催しなどで得た益金や公共施設等に設置した募金箱、共同募金自動販売機の益金等】

## 17 災害救援活動

(1) 災害ボランティアセンターの設置・運用に向けた各種団体等との体制づくり

① 4者による研修会の開催

4者の連携強化を図ることを目的に災害ボランティアセンター設置・運用に関する研修会をオンラインで実施した。

日 時	令和5年2月17日（金） 15:00～16:00
場 所	ボランティア室他
受講者数	14名（社協8名，市1名，JC1名，大隅災害Vo4名）
内 容	オンライン研修 「災害ボランティアセンターのあり方について」 講師 鹿児島県社会福祉協議会ボランティアセンター 所長 辻 健一 氏

② 町内会での災害模擬訓練の実施

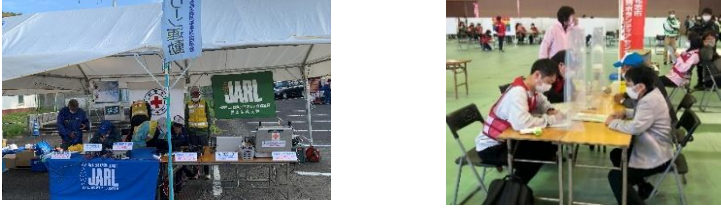
地域での防災・減災の取り組みを推進することを目的に災害模擬訓練を実施した。

日 時	令和5年2月4日（土） 14:00～17:00
場 所	船間公民館
参加者数	10名（町内会6名，社協2名，市2名）
内 容	「防災支え合いマップづくり」 講師 鹿屋市安全安心課職員





③ 鹿児島県総合防災訓練に参加

日 時	令和4年11月5日(土) 8:30~13:00
場 所	有明総合体育館
参加者数	職員3名
内 容	災害ボランティアセンター設置・運用訓練 

(2) 災害支援事業

火災や風水害等による被災者に対して、社協、共同募金、日赤から救援物資や見舞金を支給した。

社協 災害見舞金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・死 亡 1件×20,000円 = 20,000円</li> <li>・全 焼 6件×20,000円 = 120,000円 【合計 140,000円】</li> </ul>
共募 災害見舞金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・死 亡 1件×18,000円 = 18,000円</li> <li>・全 焼 6件×15,000円 = 90,000円</li> <li>・半 壊 1件×10,000円 = 10,000円 【合計 118,000円】</li> </ul>
日赤 災害見舞金 災害救援物資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・死 亡 1件×20,000円 = 20,000円</li> <li>・被災された7世帯に救援物資(毛布, タオルケット, フルシート, 緊急セット)を配布した。</li> </ul>

18 日本赤十字社会員増強運動への協力

日本赤十字社鹿児島県支部鹿屋市地区が実施する会員増強運動に協力した。

(1) 広報活動

- ① 5月は日本赤十字社会員増強運動月間として広報啓発に努めた。
  - ・社協だより第56号に掲載(令和4年4月28日発行)
  - ・広報かのや(令和4年4月28日号)を活用しての広報
  - ・ポスター, パンフレット, チラシ等募金資材を使った広報
  - ・懸垂幕の設置(市役所庁舎に設置)
  - ・横断幕の設置(リナシティかのや3階北田交差点側に設置)

(2) 会員募集

- ① 募集期間 令和4年4月1日から令和4年3月31日  
(5月は会員増強運動月間と定めている。)
- ② 納入実績額 9,791,800円(前年度比: 4,349,143円の減)  
(内訳)



区 分	会費額
個人・法人等	8,396,452円
ダイレクトメール	1,395,348円
合 計	9,791,800円